



東京多摩プロバスニュース

第 71 号

■事務局: 〒206-0034 東京都多摩市鶴牧 5-29-10 平田方 ■編集・発行: 広報委員会 2017. 3. 1.

■電話・FAX (042) 338-7022 ■URL: <http://www.tokyo-tama-probusclub.com>

豊かなキャリアをこの街に活かそう！

第 151 回 定例会

日 時 : 平成 29 年 1 月 11 日(水)午後 1 時 30 分より

場 所 : 関戸公民館第 2 学習室

お客様 : 川崎重工工業元海外営業本部長 藤井國男氏

出席者 : 25 名(会員数 34 名)

第 152 回 定例会

日 時 : 平成 29 年 2 月 1 日(水)午後 1 時 30 分より

場 所 : 関戸公民館第 2 学習室

お客様 : 多摩市社会福祉協議会法人管理課係長 大久保雅司氏

多摩市ボランティア・市民活動支援センター長 森久氏

見 学 : 多摩市国際交流センター会員 加藤晃章氏

出席者 : 25 名(会員数 34 名)

理 念

1. 豊かな人生経験を生かし地域社会に奉仕する
2. 活力ある高齢社会を創造する
3. 会員同士の交流と意欲の向上をはかる
4. 非政治的、非宗教的、非営利的であることとする



ごあいさつ



トランプ自伝

今年は干支でいうと酉年ですが私にとっても 7 回目の酉年で日頃身辺整理の必要を実感していますが、先日書棚を整理していたところ出てきたのが『トランプ自伝(早川書房 1988 年発行)』です。この本を購入したときのことは全く記憶にありませんがアメリカンドリームを実現した若き不動産王として当時から「トランプ」の名前は有名で、この本が発売と同時に全米でベストセラーになったことから書評を見て購入したものと思います。

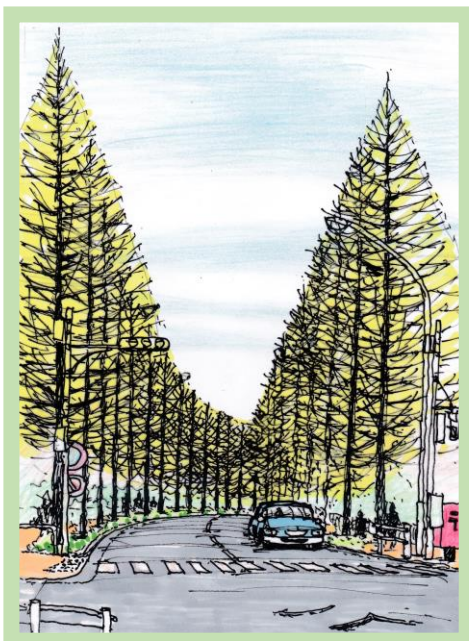
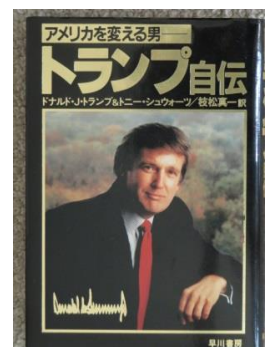
大澤亘総務委員長



最近はこの書店でもトランプ関連本が店頭を賑わせていますが、この本は再版されていないようでどこにも見当たりません。「自伝」とありますが原著のタイトルは「The Art of the Deal」で、直訳すれば「取引の技術」ということでしょうか。その内容もユニークです。

最初に或る 1 週間の自分の仕事を日記風に綴っていますが、ほとんどが相手との電話によるやり取りです。次にこれらの取引の際に自分が重要視した要素を 11 項目挙げて説明しています。一例を挙げれば「レバレッジを使う」の項目では、相手と取引するときには相手に対して優位性を持つこと、そのためには相手が望むもの、相手が必要とするもの、相手がこれなしでは困るものを持つことが必要だとしています。また翻訳者がそのあとがきの中で妻イヴァナが「トランプが将来、政治特に大統領選挙へ出馬することも絶対には言いきれない」と述べたことを紹介しているのも興味深い部分です。

今やそのネット上の「つぶやき」という新たな手段で瞬時に世界に発信するトランプ大統領ですが、1 年後の世界はどうなるか関心を持たざるを得ません。



「多摩プロバスかるた」の原画 “芽吹きのコメ セコイア通り” 山田正司会員画

◆◆◆ 幹事・委員会報告 ◆◆◆

1. 幹事報告

上田清幹事

1. 1. 1月12日(木)に八王子プロバスクラブの新年会に倉賀野武士会長・秋山正仁研修・親睦委員長が参加、1月19日(木)に日野プロバスクラブの新年会に上田清幹事・秋山正仁研修・親睦委員長が参加され、各クラブ等からの参加もあって盛大に行われました。席上では卓話交換や合同サークル活動などが話題となり、各クラブ間の一層の親睦を図る上で意義深いものとなりました。

1. 2. 八王子プロバスクラブ恒例の生涯学習サロンが2月23日～5月11日まで開催される予定で、23日(木)の開講式には西村政晃副会長・神谷真一監査・滝川益男・北村克彦・滝川道子各会員の5名が参加しました。また3月9日(木)には、講師として滝川道子会員が「江戸しぐさ」の講座を担当する予定です。

1. 3. 新年度の理事推薦については、従来の有識者会議や推薦委員会による推薦方式から理事会が推薦する方式に改めることとし、3月に臨時総会を開催してその改正案を諮ることとなりました。改正がなされ次第、理事会による新理事の推薦を行う予定です。

1. 4. 中間監査が神谷真一監査により行われ、会計の用意した資料が誤りないこと、業務が各委員会報告等から活動が計画通り進んでいることを確認して終了しました。

2. 委員会報告

2. 1. 総務委員会

大澤亘委員長

1) 第151回定例会 1月11日(水) 関戸公民館第2学習室
川崎重工業(株)元海外営業本部長 藤井國男氏による講話「イスラム世界との交流を通して得た知見」～イスラムの世界をチョッと覗いてみませんか?～を実施。

関連記事下記参照

2) 第152回定例会 2月1日(水) 関戸公民館第2学習室
多摩市社会福祉協議会法人管理課係長 大久保雅司氏とボランティア・市民活動支援センター長 森久氏による講話

「災害時の取組みについて ～地域福祉活動を通じて～」

自助・互助・共助・公助」を実施。 関連記事 P3 参照

3) 当委員会で検討中の会則一部改定案を報告。

2. 2. 研修・親睦委員会

秋山正仁委員長

1) 1月20日(金)大相撲1月場所の観戦を23名で行いました。11時に多摩市を出発、12時15分ちんご江戸沢にて昼食、13時30分頃より江戸東京博物館を見学、15時頃より大相撲を観戦しました。 関連記事 P4 参照

2) 4月上旬多摩市内での桜の花見を予定しています。場所・日時については3月の定例会にてお知らせします。

3) 一泊研修旅行については3月の委員会で決定します。

2. 3. 地域奉仕委員会

村上伸茲委員長

1) 東京湧水についての調査、散策など具体化の検討中。

2) 出前授業の「そろばん教室」を連光寺小学校 2月16・23日に、多摩第二小学校 3月13・14・16日に、聖ヶ丘小学校 3月8・15日に実施。



地域奉仕委員会のメンバーの皆さん

2. 4. 広報委員会

登坂征一郎委員長

1) プロバスニュース第71号を3月1日(水)に発行配布。

2) ホームページ更新公開を3月20日予定。

◆◆◆ 計 報 ◆◆◆

会友鴻池敬和氏(81才)が昨年11月30日に急逝されました。同氏は当クラブ設立準備委員としてクラブ設立に貢献され、第7代会長を歴任されました。3年前に体調を崩され会員を退き会友となりました。同氏のご冥福をお祈りします。 (文責 中村昭夫会員)

◆◆◆ 講 話 (1) ◆◆◆

「イスラム世界との交流を通して得た知見」

～イスラムの世界をチョッと覗いてみませんか?～

川崎重工業(株)元海外営業本部長 藤井國男氏

私は入社後約18年間国内営業などの業務に携わった後、1980年にカイロの所長として赴任以後中近東諸国、マレーシア、インドネシアを含め通算15年間イスラム圏で活躍しました。そこでイスラ



ム教が同じ源流をもつユダヤ教、キリスト教と共に世界の三大宗教でありながら長い歴史の過程でどのようにして固有の信条・戒律・習慣・文化を形成し、他とは一線を画した宗教国家を確立し存続してきたかを、この間のイスラム

世界との交流を通して得た自分の知見と経験に基づいて、お話ししたいと思います。

イスラム教は唯一絶対神アッラーを信ずる宗教で、その声を聴いたモハメットがその教えをコーランに纏めたものです。それはイスラム教徒にとっては聖書であり法律であり倫理なのです。三つの基本理念として公平・正義・平等が挙げられていますが現実は大いに異なります。5柱として信仰告白・礼拝・喜捨・断食・巡礼が挙げられます。イスラム教ではスンニ派が85%、シーア派が15%で過激派・ISは両派に存在します。スンニ派がサウジアラビア・エジプト・UAEなどで政治・軍事面の指導者を出しているのに対しシーア派はイラン・イラク・シリアなどで政治・軍事・宗教面の指導者を出しています。

◆◆◆ 講 話 (1)(つづき) ◆◆◆

イスラム教国は 57 ヶ国約 17 億人です。気候的にはアフリカ、中近東などは熱帯・亜熱帯、乾燥・砂漠、アジアは熱帯・亜熱帯・多雨で、ナイル川流域など一部を除いて農業には不適で生活環境は厳しい状況です。神様が彼らに残した唯一の資源が石油・ガスで、生産量の国別順位ではサウジアラビア、UAE、イラン、クウェートなどが上位を占めています。

この1年間にブリュッセルほか欧州諸都市やイスタンブール、カイロなどで6件のテロが起きました。ISはこれまで支配していたシリア、イラクなど石油資源のある地域を追われて資金源が枯渇したり空爆による幹部の死亡などで人材不足となり戦力が低下していますが、一方で現状に不満を持つ欧米の若者たちが IS に加わり、またリターンしてテロを起こしそれを IS が追認しているのです。最近ではソフトターゲット(一般市民、観光客)を狙ったテロが頻発しています。また IT 技術の発達により「アラブの春」以降多くの情報は瞬時にイスラム諸国に伝わるなど IS 活動は国際化しています。「目には目を」のコーランの教えからジハード(聖戦)は認められています。十字軍はキリスト

教徒による聖地侵攻であってジハードはこれに反撃するものとの考えです。

アラブの人達に平和と繁栄は戻るか?現状では NO と言わざるを得ません。それは「目には目を」のジハードの思想があるからです。30 年前のイスラム諸国はムバラク、オザールなど強力なリーダーの独裁の下で治安を保ち経済成長を遂げた社会体制を安定させてきましたが、現在の指導者たちは権力と資産の維持・拡大を図る一方で過激派を抑えるために西欧の力を借り結果的に国民を抑え込んでその不満を増大させました。石油で得た利益が貧しい者に行き渡らない限りテロは続きます。大多数のイスラム教徒は穏健な人達なのに紛争の影響を受けたシリア、イラクなどから多くの難民が流出しています。イスラム世界が平和を再び取り戻すためには①公明正大で強力なリーダーの出現、②経済格差の是正、③世界的な過激派分子の除去、④IS など過激派殲滅のためのイスラム諸国間の協調が不可欠です。

十数億のイスラム教徒に向け『アッラー アクバル! 神のご加護を!』を捧げ祈ります。

(文責 大澤亘会員)

◆◆◆ 講 話 (2) ◆◆◆

「災害時の自助・互助・共助・公助」

多摩市社会福祉協議会法人管理課係長 大久保雅司氏

多摩市の社会福祉協議会(通称社協)は、社会福祉法第 109 条地域福祉の推進を図る団体として全国の区市町村に設置されているのと同様です。理念として「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会を皆で作る」ことを掲げ活動しています。大規模災害が発生した際に災害ボランティアセンターを設置・運営することを全職員で心掛け準備と訓練を実施しています。



災害時、助け合いとなる「自助」「互助」「共助」「公助」とは

「自助」自分のことは自分です。

「互助」当事者団体による取組・生きがい就労ボランティア活動・住民組織の活動を意味します。

「共助」社会保障制度及びサービスのことです。

「公助」ボランティア・住民組織の活動への公的支援・生活保護・一般財源による高齢者福祉事業・人権擁護・虐待対策などです。

災害時の「自助」「互助」の重要性とは

「自助」は自分で守ることから、家庭の防災対策が重要で日頃からの準備が求められます。例えば三日分以上の備蓄、特に生活水としてお風呂の残り湯や個々に必要なものは自分で用意します。被災が大きく避難しなければならない状況を想定した防災教育や家族会議で細かく確認しておくことや地域住民との顔が見える近所付き合いも重要です。

「互助」は皆で支えることから、地域防災・自主防災組織などに積極的に参加し災害時の要配慮者を支え支援する心構えを日頃から啓発しておくことが重要です。社協としては、防災町歩き・防災ボランティアの育成活動・震災復興支援活動・多摩市災害ボランティアにスタッフボランティアの登録者を募集し設置訓練も実施しております。

社会福祉協議会の課題とは

社協には太い柱と位置付けている地域福祉推進委員会があります。この委員会は多摩市を 10 のコミュニティエリアに区分けし地域のニーズや課題に応じて様々な社会資源と連携するコーディネーター役を目的に活動し、特に地域内の横の繋がりを重視しています。当面の課題としては ①防災・避難所の運営 ②単身化・高齢化 ③消費者被害 ④地域の希薄化 ⑤健康問題・認知症等 ⑥居場所づくり ⑦世代間交流 ⑧見守り ⑨担い手不足等です。この解決策の具体例として ①HUG「避難所運営ゲーム」②町歩き交流会・マップ作り ③子育て座談会 ④世代間交流(児童館と共催) ⑤エンディングノート講座 ⑥認知症サポーター養成講座 ⑦健康(介護)プチ講座 ⑧個人情報保護法講座 ⑨放課後教室 ⑩ふれあい生き生きサロンを行っています。これらの推進策は ①集会所利用型 ②自宅開放型 ③地域連携型 ④健康介護予防体操など利用者が近くて便利な場所で実施中です。

最後に、社会福祉協議会は地域の皆さんと色々な仕組みづくりに主体性を大切にして地域と共に「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指す活動をして参ります。

(文責 古澤靖雄会員)

鎌倉 PC を訪ねて

中村昭夫会員

2月20日(金)鎌倉プロバスからの卓話要請があり同クラブ定例会に出席した。例会会場は鎌倉プリンスホテルで、32名(内アメリカ人会員1名)の会員中29人の出席であった。会員は多種多様なキャリアを持っている方々が多くおられた。例会は、会員による作詞・作曲の鎌倉クラブソングの斉唱で始まり、理事会、各委員会報告(委員会の中に国際交流担当を配している)があり、食事会后、私の卓話「世界から見た日本への評価」を行った。例会最後に皆で歌おう「琵琶湖周航の歌」をピアノ伴奏で全員合唱した。鎌倉プロバスは、本年創立15周年を迎えるので、記念行事を計画しているとのこと。

鎌倉は、歴史遺跡の古い寺社や記念館も多く、また七里ヶ浜の絶景もあり、観光名所を訪ねる観光客で週末や祭日には大変混雑すること。やはり日本の名だたる都会と感じた。

大相撲観戦

瀬尾日出男会員



1月20日(金)、江戸東京博物館の見学と大相撲初場所13日目の観戦の機会を得た。(参加者23名)

まずは腹ごしらえをすることにし、両国界隈でのちゃんこ料理に一同舌鼓、否が応でも相撲気分に入る。

最近のスポーツ界は若手の台頭が著しいと叫ばれ、相撲界も同様、幕下、十両の取組みから人気を呼び、客の出足の早いこと。13日目も小兵宇良の「たすき反り」の大技?に歓声が上がり、期待の稀勢の里の不戦勝に大きな拍手と歓声。若手の活躍、待望久しい日本人横綱誕生に期待を寄せている現れでしょうか。幕内の楽しみな取り組みに懸賞金の本数の多いこと、初日から千秋楽まで満員御礼を目の当たりにした一日だった。

からまつ東京地区新年句会

登坂征一郎会員

からまつ俳句会東京地区新年句会が、1月21日(土)午後1時30分より関戸公民館の大会議室で開催された。今年は、さぎ草句会・青嶺句会・ほとけ泥鰌句会が新年句会の運営を担当、当俳句会は会場の確保と設営に協力。

からまつ句会の由利雪二主宰をはじめ、40数名が参加、うち当句会からは岡野一馬会員以下8名が参加。

兼題「新年一切」の参加者投句の90句の選句集が手渡された。主宰の挨拶の後、この選句集から各自3句(自句は除

く)を選句、披露に入った。いつもながらどんな句が選句されるか固唾を飲む緊張の瞬間でもある。

今年は残念ながら当句会から上位入選者はなかったが、他句会の皆さんの作品に直接触れる機会となり、刺激を受け良い経験となりました。



左の写真は、選句された句が次々と読み上げられる緊張の披露の情景

俳句会会員投句の代表句を以下に紹介します。

歌留多札気合で撥ねるプロの技	池田玄海
孫ときてミラノの街のジングルベル	岡野流馬
初夢の歓声の中虎走る	神谷虎子
初釜や袂紗捌きの白き指	倉賀野志水
朝日浴び並ぶ丸顔初雀	川久保魚水
茜空初参りやそぞろゆく	滝川露枝
齋打つ妻に合わせる孫の声	蓮池秋霜
老いの身に一すじの紅年新た	蓮池光花
羊日や街騒さえもまた新た	登坂爽風

中学生俳句展示会

倉賀野武士会員



当クラブが選考から表彰まで全面的に協力した「多摩市中学生俳句大会」には2,854句の応募があり昨年12月に表彰式が行われたが、今回このうち1次選考を通過した308句の作品の生徒直筆による短冊が1月19日(木)~24日(火)京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター5階連絡ブリッジギャラリーで展示された。なお、応募作品に加え中学生が描いた表紙絵・挿絵を掲載した俳句集「やまざくら」が2月中に発刊される予定。

グルメ「藤田のうなぎ」

滝川益男会員

2月8日(水)、麗らかな早春の日差しの中、久々の「グルメサークル」昼食会を、「うなぎ藤田」(日野市多摩平)で和やかに開催。西村政晃リーダー以下17名が参加した。



◇◇◇ 行事・会員の活動(つづき) ◇◇◇

旨い料理は人を幸せにするというが、藤田のうなぎは、静岡浜名湖にある同店養鰻場からの直送で、蒲焼の柔らかさは女性にも人気。「陽気」の一粒がすべての味付けをする」の格言どおり、何を言っても笑いが広がる歓談のなか、全員がうなぎ「山」の美味に舌鼓を打った。席上、阪東熙子会員から、万葉集に詠われた「むなぎ」(鰻)の漢字表記は?とクイズ。答えは、「武奈伎」であった。最後に、増山敏夫会員から、希望者に「京うちわ」が配られ盛會に花を添えた。

「料理への愛に優る愛はない」 G.B. ショウ

多摩男声合唱団演奏会

中村昭夫会員

私の所属する多摩男声合唱団定期演奏会を1月29日(日)パルテノン多摩大ホールで開催しました。定員1,400人の会場に、入場者は1,389人とほぼ満席の状況でした。

第1ステージは、佐野真作曲による男声合唱曲「旅・蔵王」、第2ステージは、北原白秋詩、多田武彦作曲による男声合唱曲「東京景物語」、第3ステージは、映画「サウンド・オブ・ミュージック」を少年少女合唱団との共演というプログラムでした。



今回、多くの来場者の方々から、素晴らしい演奏に感激した、最後のアンコール曲、中島みゆきの「時代」の男声合唱にはオリジナルとは全く違った演奏でそれぞれのステージ同様の感動を得た、とのご好評をいただきました。私達団員にとってこのような評価をいただけることは一番嬉しいことです。次の定期演奏会は2年後となりますが、皆さんご期待頂ければと存じます。

多摩市新春歩こう会

山田正司会員

多摩市主催の新春歩こう会に、わがプロバス会員から今年は7名が参加した。20kmコースの登坂、北村、山田会員、10kmコースの倉賀野、大澤両会員と小池会員ご夫妻が、真冬の寒さながら快晴に恵まれた1月22日(日)、登戸と武蔵小杉の玉川土手に、それぞれ午前9時と11時に集合してスタートし、到着地の川崎大師駅に、なんと全員がほぼ同時刻の午後1時10分に到着した。途中の昼食時間を含むそれぞれ4時間と2時間の健脚振りであった。とは言え、私個

人的には、昨年には感じなかった途中からの体調変化(左足付け根と右足裏の痛み)を覚え、改めて「20km歩き悔い難し」を実感した。多摩川沿いのコースは、直線で一見単調のようだが、快晴の日曜日とあって老若男女様々に楽しむ様子、足元にはタンポポのつぼみ、水辺の白鷺の群れなどを眺めながらの



興味の尽きないウォーキングであった。

来年も参加できるように、健康維持に努めたい。

如庵有樂齋生誕470年祭

阪東熙子会員

2月11日、日本外国特派員協会プレスクラブにて、生誕



有樂稲荷神社

記念初調べ(初釜)が行われた。先ず徳川幕府茶道頭で全国三百余の藩のまとめ役だった如庵有樂齋が建立した有樂稲荷神社に、傳承家近藤艸心齋

が点てられた御茶を、高屋宗之代表が献茶された。副席では、黒(男)赤(女)母衣衆と呼ばれる正装に白の袴掛けをした20名の方々が居並び、釜六つに分かれ、点てて下さった。高屋先生の解説では、「陰点て等は茶の心なく、以ての他」と力説し、反省させられた。会場には陣屋の幕をめぐるせ、床には金屏風に如庵有樂齋の肖像の掛物を押し壮観であった。

会食後、尾上菊柴奈の日本舞踊「老松」に見とれ、鼓の音に聞き惚れた。休憩をはさんで有樂大学文庫塾生のパネル討論があり教えられる所大であった。

(1)茶壺道中の目的は、江戸に茶を運ぶだけでなく、農耕の手助けと

して、茶の他にも苗、種を諸藩に配ったこと。

(2)如庵の扁額は朝鮮の正使によって記された物であり秀吉の出兵等を気にした家康が公命で「忠恕」という朱印状を持たせ遺憾の意を表した折に記されたということ。

(3)信長公、信忠公亡き後京の正傳院に有樂齋が入ったと伝えられているが、鎌倉建長寺に入り、墓も同所にある。

今回、能阿彌、相阿彌、如庵有樂齋が残した「正傳有樂」は、遊芸事ではなく、政事に大きく関わった事を再認識し、他流への見聞を広めさせていただいた。茶謝。



仮の住まいと思えど

会社の新婚者社宅に住んでおり、そろそろマイホームを
とを考えていた私たちにとって、会社が開発した下柚木の土
地分譲と住宅公団が発表した積立債券分譲制度という選択
肢がありました(これは 5 年間債券を買うと当時入居が難
しかった公団住宅に優先的に入居できるという計画です)。

金銭的には土地分譲が有利とも思いましたが、公団の方
を選びました。会社の新婚者用社宅の生活は今でも妻が懐
かしそうに語るほど快適でしたが、やはり会社で見た顔を
家でも一生見て暮らすというのは??と思ったからです。

いろいろな経歴の方とお付き合いしたい、また道路・公
園・家並みなどが計画的に作られた日本では珍しい計画都
市に住んでみたいという願望の方が強かったのです。

昭和 51 年に移り住んだ街、多摩ニュータウンは幹線道
路を谷底に配置して、周辺に樹木をたくさん配置した設計
は静な環境を作り出し、4・5 階にお住まいの方々は晴れた
日一日中富士山が見えるご満悦でした。幼稚園はすぐ目
の前にあり、息子の歓声を毎日聞くことが出来ました。そ
して春の道筋や公園は百花繚乱夢の楽園でした。

しかし現在老境に入った住民にとっては谷底のバス停
からの階段が辛く、富士山を楽しんでいた高階にお住まい
の方は「エレベータを何とかしてくれ」とはかない望みを
かかえ、若い頃喜びの対象だった環境がしんどくなってい

小池博会員

ます。

ただこれ
は仕方が
ないこと
で一生安
楽な環境
など造り
ようがな
く、わた
くしたち
の父や母

の世代はおそらくこんな事に文句は言わなかったでしょう。

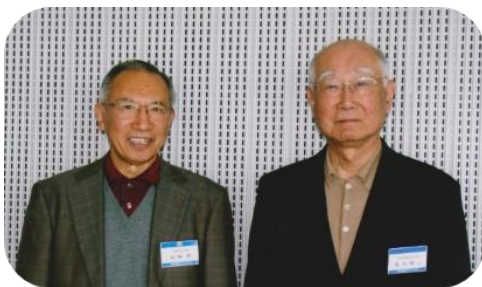
我が家の階段のお仲間の高階にお住いの 100 歳のご婦人
は、娘さんと同居しているにもかかわらず平然とゴミ出し
をご自分でやられており、天気の良い日は散歩に行かれて
います。このような方を拝見すると、自分はまだまだ 20
年近く多摩を楽しめると思い元気になります。

また、いろいろな方とお付き合いしたいという私のもう
ひとつの願望も、団地の仲間達との交流、日本科学未来館
のボランティア、海外からの留学生のお世話やホームステイ、
老人クラブのお手伝い、そして登坂会員のご紹介による「佐
助」や「プロバスクラブ」への参加などを通じて達成しつ
つあり、満足しております。



◇◇◇ ハッピーバースデイ ◇◇◇

1 月誕生日を迎えられました！



左から 稲田興会員 堀内陽二会員

2 月誕生日を迎えられました！



左から 小池博会員 山田正司会員 古澤靖雄会員

◇◇◇ 編集後記 ◇◇◇

もうすぐ春だというのに、寒暖を繰り返す日々が続いて
いる。街には多くの人たちがマスクをかけているのを見か
ける。インフルエンザも流行し体調を崩す人たちも多い。
“早く春よ来い！”である。

研修・親睦委員会主催の大相撲観戦は、テレビ観戦とは
違い生の相撲にとっても興奮して観戦した。日本武道の「礼
に始まって礼に終わる」というマナーは外国でも評価され
多くのスポーツにも取り入れられつつある。日本文化や日本
人のマナーが外国にも広がっていくことは日本人として誇
りに感じる。

外部者による講話「イスラムの世界」はイスラムの現状
を知ることができ大変興味深い内容であり、また「災害時
の自助、互助、共助、公助」の講話も震災時の対応をどの
ようにすべきかを再確認させられ、社会福祉協議会の活動
にも大変興味を持ち、当クラブの活動にも取り入れたいと
思った。

会員の活動も多岐にわたっており、それぞれの活動に会
員の幅の広さを見ることができる。豊かな人生を歩むため
には、会員同士がさらに接触し各会員の持っている趣味や
専門分野を吸収し、お互いを向上させるように努めて行く
ようにしたい。
(広報委員 中村昭夫会員記)